



SRAKK

The Scientific Research Association for *Kakishibu* and *Kakitannin*

<日時>
2017年

12月9日(土)

12:30~17:00

<会場>

龍谷大学 瀬田キャンパス(8号館1階)

- 所在地：滋賀県大津市瀬田大江町横谷1番5
- JR 琵琶湖線「瀬田」駅下車、帝産バス約8分
- 京阪本線「中書島」駅下車、京阪京都バス約30分
- 電話：077-543-7746

定員：200名

参加費：無料

日本の伝統文化と 社会を支えてきた柿渋 -その新たなる展開-

講演内容：

12:30-13:00 展示会見学
13:00-13:15 主催者の挨拶 研究会会長および食と農の総合研究所 所長

13:15-14:00

第1話 渋柿と甘柿の違い -甘柿はなぜ渋くないのか？-
龍谷大学農学部教授 米森 敬三

14:00-14:45

第2話 温故知新の多機能天然資材：柿渋の歴史と未来
奈良県農業研究開発センター 瀧崎 貞弘

14:45-15:30

展示会見学 & 意見交換

15:30-16:15

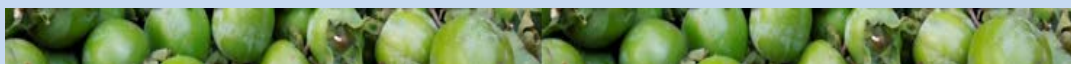
第3話 柿渋の科学と実用的利用への道
柿渋・カキタンニン研究会会長 松尾 友明

16:15-17:00

総合討論

17:00-19:00

懇親会



お問合せ&申込み先

● 柿渋・カキタンニン研究会 ホームページから【メニュー：講演会などお申込み】
<http://kakishibu.tannin.info/>

● Eメール kaki@tannin.info ● Fax 0774(73)0673 (薬膳レストランあわさい)

※ 【12月9日講演会申込み】と題し、お名前・電話・所属・Eメールをご記載下さい。

※ 資料準備のため、できるだけ12月6日(水)までにお申し込みください！



主催：柿渋・カキタンニン研究会

共催：龍谷大学 食と農の総合研究所

市民講演会及び柿渋大展示会